

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			場面に応じた柔軟な使い方を心がけている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準を満たしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			転倒回避のため、外階段に照明を増設した。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			1日2回、業務や保育の確認を全職員で行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			意向に沿えるように、できることから取り組んでいく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			オンライン研修を活用して機会を確保している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントの他、面談による保護者の意向も盛り込んでいる。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			木子里グループ内共通シートを使用。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			学校行事等も意識して、臨機応変に対応している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録（記入方法の）精度を上げていきたい。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1回、見直し、更新を実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			自己選択自己決定の機会をプログラムに盛り込めるよう工夫している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			常勤内でよく相談し、ふさわしい人間を選出している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			きめ細やかな共有ができるよう今後も心掛けていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			現在受け入れはない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			必要に応じ見学、訪問できる体制を整えている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		機会や求めに応じて提供できる準備を整えている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		十分な連携が取れるよう努力していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	コロナ禍のため未実施。近隣の公園で交流して遊ぶことはある。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	参加できるよう体制を整えていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や送迎時の情報をスタッフ間でも共有し、共通理解できるよう努めている。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		全スタッフのスキル向上の必要を感じている。
護 者 へ の 説 明 責 任	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明。求めがあれば都度丁寧な説明を心がけている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			連絡帳や送迎時に実施している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	コロナ禍のため未実施。落ち着いたら実施したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			KIKKORI通信を毎月発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			書類やデータの管理だけでなく、全職員へ定期的に注意喚起している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	コロナ禍のため未実施。落ち着いたら実施したい。
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			頻度や回数を決めて、定期的な発信を心がけていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月1回避難訓練、年2回通報訓練を実施。年1回、救急救命講習や応急手当講習を受講している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			不定期での実施。定期的な機会を設けるよう整備していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に	○			規定や手引きに従って決定、行動できるよう整備していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			全職員が周知対応できるよう整備していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		都度記録を取り、対策の話し合いを実施している。事例集としてまとめられるよう整備していく。